

1. 化学品及び会社情報

| | |
|----------------------|--------------------------------|
| 化学品の名称 | :酸性染料インク イエロー |
| 品番 | :SPC-0355Y |
| Ink Ver. | : 3 |
| 会社名 | :株式会社ミマキエンジニアリング |
| 住所 | :長野県東御市滋野乙2182-3 |
| 担当部門 | :技術本部 |
| メールアドレス | :ink@mimaki.com |
| 電話番号 | :0268-64-2413 |
| FAX番号 | :0268-64-5580 |
| 緊急時の電話番号 | :0268-64-2281 |
| | :公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番 |
| | * 一般市民専用電話 |
| | (大阪)072-727-2499 365日 24時間対応 |
| (事故に伴い急性中毒のおそれがある場合) | (つくば)029-852-9999 365日 9~21時対応 |
| | * 医療機関専用電話 |
| | (大阪)072-726-9923 365日 24時間対応 |
| | (つくば)029-851-9999 365日 9~21時対応 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | :水系染料インク、インクジェットプリンター用 |

2. 危険有害性の要約

[GHS分類]

| | |
|--------------------|------|
| 物理化学的危険性 | |
| 引火性液体 | :区分外 |
| 健康に対する有害性 | |
| 急性毒性(経口) | :区分外 |
| 急性毒性(経皮) | :区分外 |
| 急性毒性(吸入:蒸気) | :区分外 |
| 急性毒性(吸入:粉じん、ミスト) | :区分外 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | :区分外 |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | :区分外 |
| 呼吸器感作性 | :区分外 |
| 皮膚感作性 | :区分外 |
| 生殖細胞変異原性 | :区分外 |
| 発がん性 | :区分外 |
| 生殖毒性 | :区分外 |
| 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) | :区分外 |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) | :区分外 |
| 吸引性呼吸器有害性 | :区分外 |
| 環境に対する有害性 | |
| 水生環境有害性(急性) | :区分外 |
| 水生環境有害性(慢性) | :区分外 |

上記で記載が無いものは、分類できない、分類対象外

[GHSラベル要素]

絵表示
なし

注意喚起語
なし

危険有害性情報
なし

注意書
なし

[その他の危険有害性]
情報なし

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区分 :混合物
成分及び含有量

| 成分名 | 含有量 [%] | 官報整理番号 (化審法 ⁽¹⁾ ,安衛法 ⁽²⁾) | CAS No. ⁽³⁾ | 備考 |
|--------------------------|------------|---|------------------------|----|
| 色材 | 約5 | 営業秘密 | 営業秘密 | |
| グリセロール類 | 約10 | 営業秘密 | 営業秘密 | |
| 有機成分 | 5-10 | 営業秘密 | 営業秘密 | |
| トリエチレングリコールモノ ブチルエーテル | 5-10 | (2)-436 | 143-22-6 | |
| トリエタノールアミン | <1 | (2)-308 | 102-71-6 | |
| 水 | <70 | 対象外 | 7732-18-5 | |

4. 応急措置

吸入した場合

- ・気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

目に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
- ・まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・出来るだけ早く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をうがいし、200-300mlの水を飲ませてください。安静にして直ちに医師の診断を受けること。

- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護

- ・適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。
- ・換気を行う。

5. 火災時の措置

消火剤

- ・化学消火剤、二酸化炭素

使ってはならない消火剤

- ・情報なし

特有の消火方法、消火を行う者の保護

- ・吸入器具以外の特別な方法を必要としません。
- ・爆発の危険は無いと思われます。
- ・引火性はありません。
- ・適切な保護具(耐熱性着衣等)を着用する。
- ・可燃性のものを周囲から取り除く。
- ・指定の消火剤を使用すること。
- ・高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
- ・消火活動は風上より行う。
- ・周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・眼にインクが入らないように気を付けてください。手に付いたインクは水と石鹼でよく洗いながしてください。
- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項

- ・河川への排出等により、環境への影響を起さないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- ・漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置すること。
- ・スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土等で流出を防ぐ。水での洗浄等も河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・換気の良い場所で取り扱う。
- ・対象物質の環境測定値が許容濃度未満となるよう、適切な排気、換気を行ってください。対象物質及び許容濃度は、8.項の曝露防止及び保護措置を参照してください。
- ・適切な保護具を着用してください。
- ・眼や皮膚、衣服等にインクが付かないようにしてください。
- ・インクを飲まないようにしてください。

保管

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風の良いところに保管する。
- ・常温、常湿で保存してください。
- ・酸化剤または爆発物とは一緒に保管しないでください。

8. 暴露防止及び保護措置

[管理濃度、許容濃度]

| 成分名 | 管理濃度 (安衛法) | 日本産業衛生学会 勧告値 | ACGIH TLV ⁽⁴⁾ | OSHA PEL ⁽⁵⁾ |
|------------------|---------------|-----------------|--------------------------|-------------------------|
| インクジェットプリンター用インク | 設定なし | 設定なし | 設定なし | 設定なし |

| 成分名 | 管理濃度 (安衛法) | 日本産業衛生学会 勧告値 | ACGIH TLV ⁽⁴⁾ | OSHA PEL ⁽⁵⁾ |
|-----------------------------|---------------|------------------------------------|--------------------------|------------------------------------|
| グリセロール(ミスト) | 設定なし | 設定なし | 10mg/m ³ | 15mg/m ³ |
| アクロレイン (CAS No.107-02-8) | 設定なし | 0.1ppm (0.23mg/m ³) | 0.1ppm | 0.1ppm (0.25mg/m ³) |

[設備対策]

- ・必要としません。

[保護具]

呼吸器の保護具

- ・作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること

手の保護具

- ・有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用すること。

目の保護具

- ・取り扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚及び身体の保護

- ・取り扱い場合には、皮膚を直接曝露されないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---------------|--------------|
| 性状(状態、色) | :黄色液体 |
| 臭い | :わずかな臭い |
| 粘度 | :5mPa・s以下 |
| pH | :8.9-9.9 |
| 沸点(初留点及び沸騰範囲) | :有効データなし |
| 引火点 | :有効データなし |
| 燃焼又は爆発範囲の上限下限 | :有効データなし |
| 蒸気圧 | :有効データなし |
| 蒸気密度 | :有効データなし |
| 比重(密度) | :1.0以上 |
| 溶解度 | :水に対する溶解性;可溶 |

| | |
|----------------|-----------|
| n-オクタノール/水分配係数 | : 有効データなし |
| 自然発火温度 | : 有効データなし |
| 分解温度 | : 有効データなし |
| 臭いの閾値 | : 有効データなし |
| 蒸発速度 | : 有効データなし |
| 燃焼性 | : 有効データなし |
| その他 | : 有効データなし |

10. 安定性及び反応性

安定性(危険有害反応可能性)

- 一般的な貯蔵、取扱いにおいては安定です。

避けるべき条件

- 一般的な貯蔵、取扱においてはありません。

混触危険物質

- 酸化剤、爆発物

危険有害な分解生成物

- 火災時に有毒ガスが発生するかもしれません。300℃以上の高温下ではグリセロール類が分解されてアクロレイン(CAS No.107-02-8)が生成されます。

その他の危険性情報

- 危険有害反応可能性: 常温では反応性はありません。

11. 有害性情報

[急性毒性]

| 成分名 | 経口 (rat) | 経皮 (rat or rabbit) | 吸入(rat) (ガス) | 吸入(rat) (蒸気) | 吸入(rat) (ミスト) |
|-----|--|--|-----------------|-----------------|------------------|
| | EU指令 1999/45/EC に基づいた危 険分類に該当 しません | EU指令 1999/45/EC に基づいた危 険分類に該当 しません | データなし | データなし | データなし |

[皮膚腐食性/刺激性]

EU指令1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません

[眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性]

EU指令1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません

[呼吸器感作性又は皮膚感作性]

EU指令1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません

[生殖細胞変異原性]

陰性(エームズ試験⁽⁹⁾による)

[発がん性]

有効な情報なし

〔生殖毒性〕

EU指令1999/45/ECに基づいた危険分類に該当しません

〔特定標的臓器/全身毒性-単回ばく露〕

有効な情報なし

〔特定標的臓器/全身毒性-反復ばく露〕

有効な情報なし

〔吸引性呼吸器有害性〕

有効な情報なし

〔その他の有害性情報〕

有効な情報なし

12. 環境影響情報

一般注意事項

- ・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

生態毒性

- ・環境への影響について、有効なデータはありません。

残留性・分解性

- ・環境への影響について、有効なデータはありません。

生態蓄積性

- ・環境への影響について、有効なデータはありません。

土壌中の移動性

- ・環境への影響について、有効なデータはありません。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃インク、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・容器、機器装置を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器及び包装

- ・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

14. 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国連番号 (UN No.) : 該当なし

国連輸送名 : 該当なし

(Proper Shipping Name)

クラス (Class) : 該当なし
容器等級 (Packing Group) : 該当なし
海洋汚染物質
(Marine Pollutant) : 該当なし

〔国内規制〕

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上規制情報 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空規制情報 : 航空法の定めるところに従うこと。

〔国際規制〕

海上規制情報 : IMO/IMDG の規定に従うこと。
航空規制情報 : ICAO/IATA の規定に従うこと。

15. 適用法令

消防法 : 該当なし
労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物・・・
トリエタノールアミン(381)
化学物質管理促進法 : 該当なし

16. その他の情報

- (1)化審法: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
(2)安衛法: 労働安全衛生法
(3)CAS No.: Chemical Abstracts Service Registry Number
(4)ACGIH TLV: American Conference of Governmental Industrial Hygienists(米国産業衛生専門家会議)で定めたThreshold Limit Value(許容濃度)
(5)OSHA PEL: Occupational Safety and Health Administration(米国労働安全衛生局)で定めたPermissible Exposure Limit(許容曝露限度)
(6)労働省の有害基準: 労働省通達基発395号(H4-7-1)化学物質などの危険有害性試験基準及び化学物質などの危険有害性評価基準
有害基準として: 経口毒性 : (LD 50) 500mg/kg以下
吸入毒性 : (LD 50) 20mg/kg以下
皮膚刺激性 : 紅斑 2以上(平均)
浮腫 2以上(平均)
眼刺激性 : 角膜 2以上(平均)
虹彩 1以上(平均)
結膜発赤 2.5以上(平均)
結膜水腫 2以上(平均)
皮膚感作性 : 30%以上(アジュバンド有り)
変異原性 : 労働省告示第77号 変異原性が認められその比活性が被験物質1mgあたり1000以上
(7)LD50: Lethal Dose 50 50%致死量
(8)LC50: Lethal Concentration 50 50%致死量
(9)エームズ試験: 微生物(サルモネラ、大腸菌など)を用いる変異原性試験

(10)化学物質排出把握管理促進法:特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律

参考文献

- ・国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版
- ・労働安全衛生法 管理濃度
- ・日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- ・米国 産業衛生専門家会議(ACGIH), Threshold Limit Value for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
- ・世界保健機構(WHO)国際がん研究機関(IARC), IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂致します。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた使用以外の特異な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。